

様

子どもたちに友好の未来を！『日中子ども写真展』  
松本亀次郎・李徳全に学ぶ『講演・シンポジウム』

## 事業趣意書

令和4年(2022)6月吉日



日中国交正常化 50 周年・静岡県浙江省友好提携 40 周年記念  
静岡県日中青少年写真展実行委員会

## 1) ごあいさつ(事業の趣旨)

日本と中国の関係は遣隋使、遣唐使の時代から仏教、学問、芸術など文化を通じて多くの人々が行き交い、豊かな交流がなされて現在に至っています。時代が下って明治中期から昭和前期に活躍した掛川市出身の教育者・松本亀次郎は、作家魯迅や周恩来をはじめ多くの中国人留学生の教育と友好交流に力を尽くしました。

一方、戦後の混乱期に中国紅十字会長・李徳全女史は、中華人民共和国衛生部初代部長、中国赤十字会会長として周恩来総理の支援を得て中国残留日本人32,000人の帰国に尽力し、さらにソ連から引き渡された千名の戦犯には人道的処遇をするなど日中友好交流の基盤を築きました。こうした両国の先人たちの努力があって50年前の田中角栄首相と周恩来総理との会談へとつながり日中国交正常化が実現したわけです。

そして日本と中国の未来に目を向ければ、今を生きる子供や若者たちが主役となります。両国の新たな歴史を作る彼らが、互いを理解・尊重できる信頼関係を育てていくには、私たち大人が友好交流の契機を積極的に提供することが大切です。今回の記念事業の柱となる写真展の出品者・岡本央氏は、長年にわたり日中の子どもたちの写真を撮り続け、両国各地で写真展やシンポジウムを開いてきました。こうした実績から日中の若い世代が相互に友好の絆を育て、繋げていく環境づくりに貢献しています。

日中国交正常化50周年、静岡県浙江省友好提携40周年の節目を迎え、未来を担う子どもや若者が友好の心を持って両国の信頼関係を継続発展させていくための契機に「写真展」と「講演・シンポジウム」を開催する次第です。未来に繋ぐ日中友好への想いと使命感をひとつに、よろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

子どもたちに友好の未来を！『日中子ども写真展』  
松本亀次郎と李徳全に学ぶ『講演シンポジウム』

静岡県日中青少年写真展実行委員会 委員長 鷲山恭彦

## 2) 事業の目的と狙い（コンセプト）

日中国交正常化 50 周年・静岡県浙江省友好提携 40 周年の好機をとらえ

### 子どもたちに友好の未来を！『日中子ども写真展』 松本亀次郎・李徳全に学ぶ『講演・シンポジウム』を開催

日本と中国そして静岡県の歴史から、日・中友好の絆を支えてきた人、文化、芸術などの意味を学ぶことで、両国の互惠関係の大切さを改めて知る機会とする。写真家・岡本央が長年撮り続ける日中の子どもたちの傑作写真を鑑賞し、学び、知ることに加えて、日本と中国の音楽、美術、健康などの催事を通して参加者同士の友好交流にも貢献する。

学ぶ



写真家・岡本央氏の作品例

知る



松本亀次郎と学生時代の周恩来

交わる



李徳全女史

各分野の専門家や団体が「静岡県日中青少年写真展実行委員会」を組織し、交流する。

つな  
繋ぐ

この事業の最も大切な目的と狙いは、事業の成果を一過性に終わらせるのではなく、未来を担う子どもや若者が、日中友好の心を持続して育み、両国の友好信頼を深めていく契機となること。そのために、今回の事業の成果を「映像記録作品」や「冊子・書籍」などの形で次代に手渡すとともに、記念植樹による未来へ繋がるシンボル資産を創り育てる。

### 3) 事業の概要

項目	内容	備考
事業タイトル	日中国交正常化 50 周年・静岡県浙江省友好提携 40 周年記念 子どもたちに友好の未来を！『日中子ども写真展』 松本亀次郎と李徳全に学ぶ『講演シンポジウム』	
開催期間	令和4年8月25日(木)～9月18日(日)	24 日は搬入
入場料	写真展＋講演シンポ 500 円。静岡会場と大学生以下学生無料	
開催場所	県下4か所（浜松、静岡、掛川、沼津）	
『日中子ども写真展』	『自然と風土に遊び学び働く子どもたち』をテーマに、中国と日本の 生命力あふれる子供たちの写真を展示。 ① 浜松市／8月25日(木)～8月28日(日) ② 静岡市／9月2日(金)～9月4日(日) ③ 掛川市／9月9日(金)～9月11日(日) ④ 沼津市／9月16日(金)～9月18日(日)	24 日搬入／28 日搬出 1 日搬入／4 日搬出 8 日搬入／11 日搬出 15 日搬入／18 日搬出
『瀋陽・日中子ども写真展』	6月 24 日より中国遼寧省/瀋陽市(浜松市の友好提携都市)にお いて岡本央の『子ども写真展』が開催される。	
西安・日中子ども写真展	予定	
福岡県・日中子ども写真展	予定	
首都圏・日中子ども写真展	予定	
『講演・シンポジウム』	魯迅や周恩来など中国人留学生育成に尽した松本亀次郎と、戦後 中国残留日本人の帰国に貢献した李徳全女史を顕彰再評価し、 両国の友好の絆を未来へ繋げていく。 ①浜松市／8月27日(土)講演会＋CJK プラットフォーム ②静岡市／9月3日(土)講演会＋CJK プラットフォーム ③掛川市／9月10日(土)講演会 ④沼津市／9月17日(土)講演会	
写真展併設企画	併設展示／静岡県日中友好協会パネル展 静岡県日中友好協議会パネル展 松本亀次郎と李徳全の紹介パネル 高井一暢&柯青「絵画と漢方薬草展」 パフォーマンス／弘法大師と漢方薬草、 太極拳入門 昆劇と詩吟のコラボ 中国古典舞踊、音楽と歌バンド など	
桜・記念植樹 田中真紀子講演会	松本亀次郎、周恩来・師弟愛ゆかりの桜植樹 3月24日実施 田中真紀子講演会「父田中角栄と日中国交回復」7月1日	
事業成果の継承	映像によるドキュメンタリー作品／15分 冊子／書籍 植樹による亀次郎・周恩来師弟愛の象徴を継承	
主催・構成団体	主催：静岡県日中青少年写真展実行委員会（静岡県日中友好協 会、静岡県日中友好協議会、松本亀次郎記念日中友好国際交流 の会 李徳全研究会 等）	
後援	静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、 浜松市、浜松市教育委員会、掛川市、掛川市教育委員会、 藤枝市、藤枝市教育委員会、牧之原市、牧之原市教育委員会、 島田市、島田市教育委員会、沼津市、沼津市教育委員会、 富士市、富士市教育委員会、裾野市、裾野市教育委員会、 御殿場市、御殿場市教育委員会、三島市、三島市教育委員会、 富士宮市、富士宮市教育委員会、熱海市、熱海市教育委員会、 小山町、小山町教育委員会、静岡県私学協会 (社)日本中国友好協会、日本中国文化交流協会、日中協会、 日中友好会館、中国大使館、浙江省人民対外友好協会	報道機関（新聞社、TV 局、ラジオ局） 予定
協賛(予定)	CJKプラットフォーム、日本浙江総商会、有限会社アールコーポレーショ ン、日本120学会、三企会 他協賛企業各社 団体 個人	

## 4) 子どもたちに友好の未来を！『日中子ども写真展』

### ● 写真家・岡本央 プロフィール

宮城県大崎市出身。「中国」「日本の農村」「国境を越えた日本人」など人間と風土をテーマに、数多くのフォトルポルタージュを各誌に発表。同時に、長年ライフワークとして『“自然と風土に遊び学び、働く”、世界の子どもたち』をテーマに撮影を続けている。

木更津社会館保育園の里山保育と土曜学校の子どもたち撮影は約10年に亘って取り組んでいる。

中国の子供たちを撮ったシリーズ『ニーハオ小朋友』は日本各地と中国山東省などで展示話題を呼んだ。



### ● 実績と展示作品例

『“自然と風土に遊び学び、働く”、世界の子どもたち』をテーマに、岡本央のカメラアイが捉えた中国の子供たちと、日本の子供たちの写真を県下4か所で展示する。彼の視点は『国境を越えた日本人』、『ないないづくしの里山学校』や、『馬とあそび馬と走るモンゴルの大草原』などの著書にも示されている。実行委員会ではこうしたさまざまな環境でたくましく生きる子供たちの生命力に注目。日中友好の未来に大輪を咲かせてほしいという考えに立って写真展を企画した。

● なお6月24日から中国遼寧省瀋陽市でも、日中国交正常化50周年を記念して、岡本央の作品による『日中子ども写真展』が開催される。瀋陽市は浜松市の友好提携としてである。



## ● 写真展会場 県内4か所

- ① 浜松市／「クリエート浜松・市民ギャラリー31」／300㎡  
8月25日(木)～8月28日(日) 3日間 9:00～18:00  
24日搬入・準備 28日16:00～撤去  
総合開会式(オープニングパーティ):8月27日(土) 10:00～
- ② 静岡市／「静岡市民ギャラリー第4展示室」 153㎡+121㎡  
9月2日(金)～9月4日(日) 3日間 10:00～17:00  
9月1日搬入・準備 9月4日16:00～撤去
- ② 「大日本報徳社特設ギャラリー」 仰徳記念館／140㎡  
9月9日(金)～9月11日(日)3日間 9:00～17:00  
9月8日搬入準備 9月11日16:00～撤去
- ③ 沼津市／「キラメッセぬまず・沼津市民ギャラリー」 297㎡  
9月16日(金)～9月18日(日)3日間 9:00～18:00  
9月15日搬入準備 9月18日16:00～撤去

## ● 写真展併設展示内容

写真展と同じ会場に以下の特別コーナーを設ける。

- ① 静岡県日中友好協会の活動紹介パネル展
- ② 静岡県日中友好協議会の活動紹介パネル展
- ③ 松本亀次郎の紹介パネルと写真
- ④ 李徳全の紹介パネルと写真
- ⑤ 高井一暢&柯青／弘法大師仏画が薬草を持った絵画作品

展示スペース、内容および展示パネルの大きさ等について関係者で検討

## ● パフォーマンス

一定時間を日中友好のコンセプトに沿った、誰にも楽しめる音楽、舞踊、研究発表などを準備。  
現在予定のプログラムは以下のとおり。

柯青	◎弘法大師と漢方薬草 講義・試飲サービス
伊東健	◎太極拳入門 実演と指導
大澤雅翠	◎昆劇と詩吟のコラボ 実演披露
伊藤治奈	
松沼素子	◎中国古典舞踊 実演披露
水野雅江	◎音楽と歌 バンド演奏とヴォーカル

ほか

## 5) 松本亀次郎・李徳善に学ぶ「講演・シンポジウム」

### 《コンセプト》

作家魯迅や周恩来をはじめ、多くの中国人留学生育成に尽力した教育者・松本亀次郎先生と、戦後中国残留日本人やシベリア抑留日本人の帰国に貢献した李徳全女史等、日中の架け橋となった先人の貢献を知り、学び、両国の相互理解と友好交流の輪を未来へ繋げていく。

### ● 講演・シンポジウム会場 県内4か所で実施

#### ① 浜松市／「クリエート浜松 2Fホール」 300名収容

8月27日(土) 14:00～17:00

松本亀次郎に関する講演 鷲山恭彦氏 40分

李徳全に関する講演 特別ゲスト 羅悠真氏 五十嵐義隆氏 40分 休憩 15分

CJKプラットフォームに関する講演またはシンポジウム 60分

#### ② 静岡市／「産業経済会館大会議室」 144名収容

9月3日(土) 14:00～17:00

松本亀次郎に関する講演 伊東秀子氏 40分 休憩 10分

李徳全に関する講演 五十嵐義隆氏 40分 休憩 15分

CJKプラットフォームに関する講演またはシンポジウム 60分

#### ③ 掛川市／「大日本報徳社大講堂」 150名収容

9月10日(土) 14:00～15:30

松本亀次郎と周恩来に関する講演 王敏氏 40分 休憩 10分

李徳全に関する講演 五十嵐義隆氏 40分

#### ④ 沼津市／「コンベンション沼津会議室」 180名収容

9月17日(土) 14:00～15:30

松本亀次郎に関する講演 鷲山恭彦氏 40分 休憩 10分

李徳全に関する講演 安間義明氏 40分

● 講師、パネラー（5月31日現在・変更の場合もあり）

羅悠真	中華全国工商連合会特別顧問 李徳全研究会特別顧問	李徳全女史の孫 CJKプラットフォーム中国代表
鷺山恭彦	静岡県日中青少年写真展実行委員長 松本亀次郎記念日中友好国際交流の会 名誉会長	東京学芸大学名誉教授、元学長
莫邦富	経済ジャーナリスト 作家 知日派のジャーナリストとして政治経済から社 会文化問題まで幅広く日中メディアで発言。	『この日本愛すればこそ』(岩波書店)著 者、他日本語著書多数
王敏	日中文化交流研究	『周恩来と日本』(三和書籍)著者 法政大学名誉教授
伊東秀子	弁護士、元衆議院議員	『父の遺言——戦争は人間を狂気にす る』(花伝社)著者
五十嵐義隆	李徳全研究会会長	CJKプラットフォーム日本代表
安間孝明	李徳全研究会副会長	CJKプラットフォーム日本副代表
岡本央	写真家	『ないないづくしの 里山学校』(家の 光協会)著者
伊東健 大杉政喜 花嶋玲恵	司会進行 アシスタント	

● 関連付帯事業「桜の下・松本亀次郎と周恩来青年」記念植樹（3月24日実施）

周恩来総理は日本で学んだ松本亀次郎への想いを忘れずに、桜の季節に亀次郎の故郷訪問を願った。これは周恩来総理の死後、妻によって実現した。画家鄧家駒は「桜の下で亀次郎と子供たちも一緒に交歓する学生時代の周恩来」を描いた。こんなエピソードにちなみ鶴峯堂周辺の山に桜の植樹を3月24日に行った。松本亀次郎記念日中友好国際交流の会との連携により、「未来に繋ぐ」という事業理念から“桜の木の成長”を両国友好関係を未来へ継承発展させるシンボルとする。